


C-6 キャンドルづくり

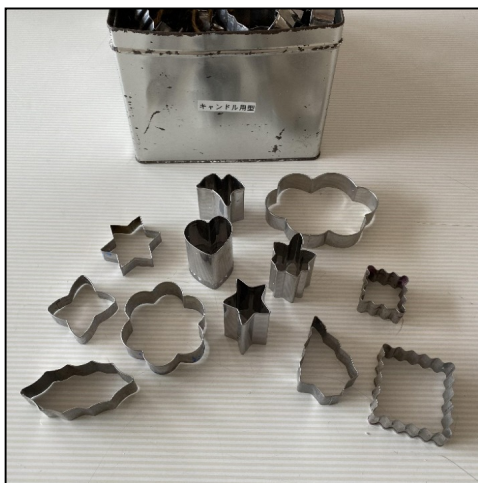
概要	ろうの性質を利用して色や形を変え、自分なりのキャンドルをつくる活動			
ねらい	自然に親しむ	仲間づくり・協調性	課題克服・達成感	 HP 詳細へ
			○	
	歴史文化に親しむ	知識	創意・工夫	
		○	◎	
条件	場所	実習室 等	対象	小学生以上
	時間	およそ2～3時間程度 ※完成までには時間を要します。	人数	40名程度
	時期	通年	天候	全天候実施可能
	料金	パラフィン 1kg 1850円 (10～15人分) ※ろうを細かくした素材 ろうソクの芯 3m 420円 (25～30人分) ごみ袋 (大) 150円		
準備物	センターが貸し出しできるもの		団体が準備するもの (共通)	
	<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> 鍋 <input type="checkbox"/> お玉 <input type="checkbox"/> カッター <input type="checkbox"/> 千枚通し <input type="checkbox"/> 容器 <input type="checkbox"/> 抜き型		<input type="checkbox"/> ガスボンベ 軍手 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 紙コップなど容器 <input type="checkbox"/> 割りばし <input type="checkbox"/> 着色料 (クレヨン、粉絵具等)	
展開	<p>1 事前 (当日までの準備)</p> <p>(1) キャンドルのつくり方や活動の流れを確認する。 (2) 材料や用具等の準備をする。</p> <p>2 活動 (当日の流れ)</p> <p>(1) 作り方の手順等の説明、諸注意 (安全面) → センター職員が行うことができます。</p> <p>(2) 「キャンドルづくり」の実施 (基本的な流れ)</p> <p>①パラフィンを湯せんで溶かし、液体にする。 ②液体状のろうに、着色料を混ぜ、色をつける。 ③準備した容器に、割りばしを使って芯をセットする。 ④容器の中に、液体状のろうを流し込む。 ⑤完全に固まるまで、平らなところへ置いておく。 ※どんなキャンドルをつくるのかは指導者にお任せします。容器を工夫したり、色を複数使ったりすれば、オリジナリティを出すことが可能です。事前に研修者に伝え、用意させておくとうよいです。 ※活動後、「キャンドルのつどい」を開催し、振り返り時に自分で作ったキャンドルを灯す活動も考えられます。</p> <p>3 事後 (片付け)</p> <p>(1) 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 (2) お互いの作品を鑑賞し合い、褒め合ったり作品作りについて振り返ったりする。 (3) 用具の返却、終了の報告</p>			
実施の留意点	<p>○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。</p> <p>○ カセットコンロを扱います。熱したろうでの火傷等も想定されます。事前指導を行い、安全な実施をお願いします。</p> <p>○ 換気も十分に行いながら、活動を実施してください。</p>			

C-7 キャンドル作り資料



〈貸出物品〉

キャンドル用容器:37 缶
 カセットコンロ:10 台
 鍋:7 個
 おたま:23 本
 カッター:34 本
 千枚通し:11 本
 抜き型:各種
 ※貸出数には、限りがございます。



↑抜き型各種

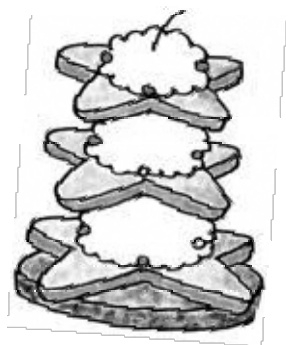
～作品例～



ブロックキャンドル



ケーキキャンドル



キューブキャンドル



ツリーキャンドル

※作成するキャンドルの種類によって、作り方や所要時間、準備物が異なりますので、事前にご相談ください。